

会報 新安土日記第2号

NPO 法人安土城再建を夢見る会

平成30年5月7日

当会のマスタープランをつくりました。今後、これをベースに活動を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。早速、朗報が入ってきました。去る4月15日に当会が応援している小西おさむ氏が近江八幡市長に当選されました。今後は観光政策の強化、県や総見寺及び旧安土町民との関係改善も大幅に進みます。とくに、100億円の市庁舎建設計画が白紙となり、新庁舎には観光客も意識した魅力ある設計に見直ししてもらえることが期待できて、当会、市民及び観光客にとっても素晴らしいことです。

つまり、八幡商人の三方よし(買い手よし、売り手よし、世間よし)の実践でもあります。当会はお手伝いのできればよいと思っています。皆さん、知恵・アイデアと汗を出して協力しましょう！また、最近の発掘研究で当会が真実の安土城として考えている内藤昌氏の案が決定的になった斜め瓦が発見されました。池上右平の天守指図の信憑性が高まったと言えます。当会では関係者とこれを本にしPRしていきたいと思います。これからも当会活動に注目&支援をよろしくお願いいたします！

NPO法人安土城再建を夢見る会のマスタープラン



【基本方針】

- 1)2026年(安土城450年祭)に向け、安土山&周辺の整備を進め、西日本の観光都市No.1を目指す！
(国、県、市、総見寺&地元市民の強固な連携)
- 2)当地は古代から中世に至るまで沢山の聖地があり、ピワイチと連携し自転車&船など琵琶湖の自然&文化の特性を生かした癒しの地域&空間をつくる！
- 3)信長が実現しようとした自由(信仰の自由、楽市楽座、邸寺権廃止)&合理性のある政策が、平和&人材活性化&地域発展につながることを実践&発信する！
(観光・自然保護、教育・産業の特化→環境省議政)

活動の柱1
文献調査、現地発掘
技術見解まとめ→城の設計

- ・内藤、宮上、佐藤案の比較・検証(当会・滋賀県観光課・近江八幡市が中心になり正式見解を出す)
- ・第二次発掘調査計画の立案と推進(本丸、天守、二ノ丸、八角平)
- ・文献・資料調査(パチカン、フランス、前田藩地上家の記録)
- ・お茶、相撲、鷹狩り、馬揃え、絵、城、踊りなど安土・桃山文化研究
- ・城の構想設計案のまとめ

活動の柱2
政治、宗教団体等
への働きかけ

- ・国、滋賀県、近江八幡市と連携(安土・八幡観光特区構想)
- ・総見寺とのコラボと協働体制
- ・ウォーリス学園及びキリスト教地元の神社、仏閣との連携
- ・全ての政党との協働体制確立
- ・名古屋城、岐阜城等との連携
- ・近江八幡市市政に入って都市計画&まちづくりを推進する
- ・地元の活動団体との連携

活動の柱3
資金・署名集め

- ・掛川城の資金集めの調査
- ・江戸城天守を再建する会の活動との連携
- ・滋賀県人会との連携
- ・城や信長に関心のある芸能人や団体、企業との連携
- ・近江八幡市庁舎へ安土城天主設置とふるさとの納税とコラボ
- ・近江八幡市の観光基金をつくる(安土城、ウォーリスなど)

活動の柱4
情報 宣伝活動

- ・活動拠点&情報発信地設置(まちや倶楽部蔵、西ノ瀬ステーション、東部：竹相撲、加茂神社：馬揃えなど)
- ・雑誌&本発行、ネット&TV
- ・イベント活動(まちや倶楽部RAKUCHIへの出店とPR活動、信長祭り)
- ・ゲーム・アニメ会社との連携(コウエー、ジブリなど)
- ・ココ遊覧でのPR活動

